年度	2023
講義コード	15370
講義名称	マネジメント入門
科目英文名	
講義副題	
開講責任部署	総合人間自然科学研究科（修士課程） 医科学専攻
講義区分	
基準単位数	2.0
時間割	1学期: 集中講義, 2学期: 集中講義
講義開講時期	通年
配当学年	1
遠隔授業	対象
区分1	
区分2	
資格等	メディア授業科目

担当教員

氏名	所属
菅沼　成文	医学部

授業実施方法	主にオンライン同期型（全開講回数の過半数）、一部対面

副題【SUBHEADING】

【テーマ（日本語）】(IN JAPANESE)	マネジメント入門

オフィスアワー 【OFFICE HOURS】	メール（nsuganuma@kochi-u.ac.jp）にて調整
学生相談場所 【OFFICE LOCATION / ROOM 】	総合研究棟Ⅱ2階　環境医学教授室
履修希望学生に求めるもの 【PREREQUISITES / REQUIREMENTS】	病院経営学講義/演習の授業に必要な、経営学の基礎知識の習得を目標とする。

備考 【NOTES ON CLASS ENROLLMENT】	履修条件あり。 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者、事務職員、医療関連企業等の中で病院経営に関与している者（部署責任者、またはそれに準ずる者等）、今後関与する予定の者。 教員（菅沼、物部）は医師免許を有する実務家教員 教員（物部）は企業経営する実務家教員

カリキュラムチェックリスト【CURRICULUM CHECK LIST】

【授業科目の主題・目的(箇条書)】（COURSE AIMS）	病院経営学講義/演習の授業に必要な、経営学の基礎知識の習得を目標とする。

授業の到達目標【COURSE OBJECTIVES & CURRICULUM CHECK LIST】

授業科目の到達目標 （COURSE OBJECTIVES）	知識・理解 knowledge /understanding	思考・判断 thinking / judgement	関心・意欲 interest /eagerness	態度等 positive attitude	技能(技法)・表現 skill(technique)/expression

マーケティング	◎				
アカウンティング	◎	◎			
ファイナンス	◎	◎			
組織行動	◎				
戦略	◎	◎			◎
経済学	◎	◎			
経営におけるテクノロジーの活用	◎	◎			
ミニケースディスカッション	◎	◎	◎	◎	

授業全体の概要 **【SUMMARY】**	経営学で必要な科目のうち、財務会計、戦略、マーケティング、組織行動を中心に講義を行う。 MBA教育で使われる教科書を活用し、組織運営のための基礎力をつける。
授業時間外の学習 **【STUDENT PREPARATION & REVIEW AT HOME】**	自己学習およびレポート作成
授業計画表（テキスト形式） **【LESSON PLAN】**	第1日 1コマ目：マーケティングの基礎的な考え方を理解する【物部】 2コマ目：マーケティングフレームワークを活用する【物部】 3コマ目：それぞれの組織の意義と問題点について理解する。また組織管理について、組織心理の観点からこれを理解する。【物部】 4コマ目：それぞれの組織の意義と問題点について理解する。また組織管理について、組織心理の観点からこれを理解する。【物部】 第2日 1コマ目：経営するうえで知っておくべきテクノロジーを知る【物部・竹村】 2コマ目：経営するうえで知っておくべきテクノロジーを知る【物部・竹村】 3コマ目：経営戦略について、特に競争戦略の基礎的な考え方（思考フレーム・ワーク）について理解する。【物部】 4コマ目：企業内での起業家的活動を理解する。【物部・柏木】 第3日 1コマ目：会計の基本構造を理解する【上村】 2コマ目：会計資料を読み方を理解する【上村】 3コマ目：投資の意思決定および投資の評価について理解する【上村】 4コマ目：投資の意思決定および投資の評価について理解する【上村】 第4日 1コマ目：発表①【物部】 2コマ目：発表①【物部】 3コマ目：最適な組織構造について理解する【物部・表】 開講日時は別途決定する。

教科書・参考書 **【COURSE TEXTBOOK / REFERENCE BOOKS】**	グロービスMBA　マーケティング　グロービス経営大学院 ビジュアルマーケティング・フレームワーク　原尻　淳一 ビジネス会計検定試験公式テキスト3級　大阪商工会議所 グロービスMBA　ファイナンス　グロービス経営大学院 グロービスMBA　事業戦略　相葉 宏二、 グロービス経営大学院

成績評価の基準と方法【GRADING POLICIES/CRITERIA】

評語	評点	基準
秀	90点～100点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、標準的に達成している水準をはるかに上回る成績
優	80点～89点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、標準的に達成している水準を上回る成績
良	70点～79点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、所定の課題について活用していると判定でき、標準的に達成している水準程度の成績
可	60点～69点	標準的に達成している水準を下回るが到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握していると判定できる成績
不可	59点以下	到達目標に示した知識・技能・考え方などが理解・把握できておらず、単位修得にふさわしくないと判定できる成績

成績評価の基準と方法	

【GRADING POLICIES/CRITERIA】	成績評価の基準・方法 出席、授業態度、レポートなどによる総合的判定

パソコン必要度【NECESSITY OF PCs】

【パソコン必要度】 （NECESSITY OF PCs）	授業中に必要（1-2回程度必要、但書無し） 授業時間外学習に必要（1-2回程度必要）
【コメント】 （COMMENTS ON PCs）	同期型オンラインの手法を主に使いますのでパソコンとネットワークは必須です。